高齢者虐待対応帳票関係

第1表

下高福

믕

課長	基幹包括 センター長	介護 Gリーダー	高齢 Gリーダー	担当者

相談•通報•届出受付票

相言	炎日時							付者				I			
100								属機関 : -		= =-		+00 🗀	## . .	11 /5/	+
事実6※48	在認期的 時間以1	艮 为						対方法 対回数		電話初回		方問 🗌 事来 (fi	来所 メ メ メ タ メ メ メ メ メ メ	ール等	j \
			-				XI.					II NE			,
	談者 報者)	住所また	日 は機関名					匿名	本	人との 電 ii					
		Emore		いら怒鳴り	声・泣き声な	が聞こえる		<u>ا</u> ل	間に			ない、無	表情、怯えてい	る [疑い
			悪天	候(寒暑含	む)でも高齢者	当が屋外にいる		<u>ال</u>	食	事をきた	5んと	食べてい	1ない		疑い
	待を疑 ※通報	う視点	□ 必要	なサービス	を利用してい	る様子がない		EUN [年金	念など管	理がで	きていな	い、使われてい	る [疑い
,		.0.07	服力	汚れていた	り、入浴してい	1る様子がない	□ 欵	€ 01 [] 養調	護者の怠	態度(·)
			□ あさ	ざや傷があ	る			€61							
	情報	酒	相談者	(通報・届)	出者)は、[✓ 実際に目	撃した] 怒!	鳥り声な	か泣き	声、物音	音等を聞いて推	測し	J.
	XI+ ETI	///示			[本人から	聞いた		関係	系者() ;	から間	かた
	E	氏 名				性	81			生年月	В			()
	ſ.	主所	下里	野市											
	電話	(自宅)						:	携帯						
本人		りつけ医 ②療科)						色	師名						
(※ わ										 !					
(※わかる範囲で記入)		要介護度			支援 事業所名						担当	á(CM)者			
即一で	介護	有効期間				~					負	担割合			
記入		サービス											•		
	Ę	手帳等				()					()
	ſ.	注環境		色 □ 借乳	家()	□ 住	改済み	ナー住班	環境備者	Š				
	本人	人の意向													
.~	E	氏 名				性	5U			続析	万				
主介護者	ſ.	主所												と同-	-住所
者	主介語	護者の意向													
	特記事項														

◆世帯情報欄

世界では認めています。 本の他() 方の他() 方の後() 方の他() 方の後()) 一本人 一家族() 一方の上 一方の他() 方の上 一方の上 一方の上 一方の上 一方の上 一方の上 一方の上 一方の上	ジェノ	グラム(キ	ーパーソンに☆印、生活保護受給者に△印、	氏 名		続柄	生年月E	3		
大の他() 万 大の他() 万 大の他() 万 氏名 手紙形作		手	帳所持者は詳細記入) 【※縦書き】							()
氏 名 手板別時 株柄 生年月日 (位 所 同居 1045 日本 152						本人	□ 給与 [年金	農業	₹ □ 不動産
世紀								•)	万円/年
大名 手帳所持 括柄 生4月日				氏 名	□ 手帳所持	続柄	生年月日	3		
大名 手帳所持 括柄 生4月日				ı> =r					T ## 24	() *
氏名 手帳所持 続柄 生年月日 (住 所 向居 一章の15 千全 海栗 一手乗離認中のリスクと対応 1 日当者 () (国係者より 氏名・機関名 (国 所) 日当者 () (国 所) 日前 (国 所				1生 所			+= -			
世代			į	F 夕	手帳所持			•	'	万円/年
世記 中記 中記 中記 中記 中記 中記 中記 中記 中記					בנוקאייד 🔲	צייריט טוו	工十万口			()
□ その地() 万 氏 名 手様所持 続柄 生年月日 (住 所	同居		給与「	年金「	農業	
世報記					<u> </u>		+= -)	万円/年
### 世 所 □ 同居				氏名	手帳所持	続柄	生年月日	3		
************************************										()
特記				住 所	同居		□給与[年金 [農業	業 □ 不動産
●滞納状況確認							□ その他	()	万円/年
◆滞納状況確認 □ なし □ 不明 (特記	3		氏名	手帳所持	続柄	生年月E	3		
◆滞納状況確認 □ なし □ 不明 (()
◆滞納状況確認 □ なし □ 不明 (住所	同居					
で表して で表して で表して で表して で表して で表して で表して で表して であります。		.±.155==±=		ļ			その他	()	万円/年
市税	◆滞約	州状況確 記	∞ □ なし □ 不明							
(()	□ 本人 □	家族()			(円)
医療 () □ 本人 □ 家族 () □ 世書 () (□ 基	市税	() [」本人 🗌	家族()			(円)
↑ (() [□本人 □	家族()			(円)
せん	医療	() [□本人 □	家族()			(円)
での他	介護	() [」本人 🗌	家族()			(円)
世 (マ	(·) [」本人	家族()			(円)
() □ 本人 □ 家族 () □ 家族 (□ 家族 (□ 宮田 □ 宮田 □ 宮田 □ 戸舎 □ その他 (□ 財当者 (□) (□ 下舎 □ での他 (□ 財当者 (□) (□ 下舎 □ での他 (□) 担当者 (□) (□ 下名・機関名 (□ 財当者 (□) □ 下名・機関名 (□ 財当者 (□) 回 下名・機関名 (□ 財出当者 (□) 回 下名・機関名 (□ 財出計者 (□) 回 下名・機関名 (□) 回 下名・機関名 (□ 財出計者 (□) 回 下名・機関名 (□) 回 下名・関本 (□) 回 下名・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・日本・	の他	() [□ 本人 □	家族()			(円)
事実確認日 ~ コア会議日時 ~ 場所 (面接 高齢者 □ 自宅 □ 包括 □ 庁舎 □ その他 () 担当者 () (養護者 □ 自宅 □ 包括 □ 庁舎 □ その他 () 担当者 () (万一ス会議 □ 招致者 (別係者より □ 氏名・機関名 () 担当者 () (関係者より □ 氏名・機関名 () 担当者 () (事実確認中のリスクと対応 」 担当者 () (() [□ 本人 □	家族()			(円)
高齢者 自宅 包括 庁舎 その他() 担当者 ()()	◆事	実確認協調								
事実確認の方法 関係者より 日名・機関名() 担当者 () () 関係者より 日名・機関名() 担当者 () ()) () 財子者 () ()) () () 財子者 () () () () () () () () () (事実	確認日	~ □	ア会議日時	:			~ 場所	ī ()
事実確認の方法 類係者より 氏名・機関名() 担当者() () 財務者より 氏名・機関名() () 担当者() () 財務者より 氏名・機関名() () () 事実確認中のリスクと対応 リスクと対応 () ()		あ 垃	高齢者 🗌 自宅 🗌 包括 🗌 庁舎	舎 🗌 その	他 ()	担当者	()	()
関係者より □ 氏名・機関名 () 担当者 () () ま実確認中の リスクと対応	事	山按	養護者 □ 自宅 □ 包括 □ 庁舎	舎 🗌 その	他()	担当者	()	()
関係者より □ 氏名・機関名 () 担当者 () () ま実確認中の リスクと対応	天確認		ケース会議 □ 招致者()	担当者	()	()
関係者より □ 氏名・機関名 () 担当者 () () ま実確認中の リスクと対応	がの方	(Hand	関係者より □ 氏名・機関名()	担当者	()	()
事実確認中のリスクと対応	法	邶山以	関係者より □ 氏名・機関名()	担当者	()	()
リスクと対応			関係者より □ 氏名・機関名()	担当者	()	()
	事実でリスク	確認中の クと対応				,		·		
│ 備 考 │	備	考								106

ver.200729 事実確認シート 第2表 下高福 믁 所属 : 作成者 : 職種 : 結 果 1回目(事実確認時)黒 令和 年 月 日 確認者氏名 2回目(評価時) 赤一令和 年 月 日 確認者氏名 生年月日 高齢者氏名 性別 ☆①~⑦の該当欄[]に○を入れ、必要項目を記入。 ①高齢者本人は意思疎通が可能か? [] 意思疎通不可(②高齢者本人、または養護者が保護を求めているか?] 高齢者本人が保護を求めている] 養護者が高齢者本人の保護を求めてい:(③高齢者本人、または養護者が訴える状況が差し迫ったものか?] 「殺される」「〇〇が怖い」「何も食べていない」等の訴えあり (] 「何をするか分からない」「殺してしまうかもしれない」等の訴えあり (④すでに重大な結果が生じているか? □ 頭部外傷(血腫・骨折)□ 腹部外傷 □ 意識混濁 □ 重度の褥瘡 □ 栄養失調 □ 重い脱水症状の繰り返し □ 全身衰弱 □ 自殺念慮 □ その他 (レッド:<u>①に**ので、かつ②または③に〇**</u> がついた場合、もしくは**④にO** がついた場合は **緊急保護の検討** を行う。 事実確認の状況を踏まえ、総合的に判断する。 ⑤今後虐待による重大な結果が生じる恐れが考えられるか?] □ 頭部打撲 □ 顔面打撲・腫脹 □ 不自然な内出血 □ 火傷 □ 刺し傷 □ 軽度の脱水 □ 低栄養 □ 低血糖の疑い □ 極めて不衛生的 □ 極端な怯え □ その他 (⑥虐待は繰り返される恐れがあるか?] 習慣的な暴力 (□ 新旧の傷・あざ □ 入退院の繰り返し □ その他(1日常的な介護放棄 (□ サービス未利用 □ かかりつけ医なし □ その他 (] 虐待者の認識 (□ 虐待の自覚なし□ 認めたがらない □ 援助者・支援者との接触回避 イエロー:①~④にOはないが、**⑤と⑥にO** で**保護** または **短期集中型援助の検討** を行う。 ⑦保険料等や介護サービス利用料、医療費等の滞納があるか?] 滞納がある (⑧虐待を受けている高齢者本人の状態] 認知症自立度 🗌 I 🗌 II a 🔲 II b 🔲 II a 🔲 II b 🔲 II M] 寝たきり度 🗌 J1 📗 J2 📗 A1 📗 A2 📗 B1 📗 B2 🔲 C1 🔲 C2] 行動上の問題 □ 徘徊 □ 暴力行為 □ 昼夜逆転 □ 不穏・興奮 □ 失禁 □ その他(1 性格的問題 □ 衝動的 □ 攻撃的 □ 粘着質 □ 依存的 □ その他(] 障がい・疾患 🗌 知的障害 🗌 精神疾患() 🗌 依存症(⑨虐待をしている養護者の状態 1 □ 養護者の精神的不安定・判断力の低下 □ 非現実的な認識 □ 認知症や介護に関する知識・技術不足 □ 高齢者本人への拒否的感情や態度 □ 重い介護負担感 □ 介護疲れ □ その他(] 長期にわたる介護 年 月 頃から 1 性格的問題 □ 衝動的 □ 攻撃的 □ 未熟性 □ 支配的 □ 依存的 □ その他(] 障がい・疾患 □ 知的障害 □ 精神疾患() □ 依存症(] 経済的問題 □ 低所得 □ 失業 □ 借金 □ 高齢者本人への経済的依存 □ その他(⑩虐待につながる家庭状況はあるか?] □ 高齢者本人と養護者の二人暮らし □ 副介護者なし □ 長期にわたる不和の関係 □ 共依存 □ 居住スペースが狭い □ 高齢者本人の自室なし □ 不衛生的 □ その他(

グレー:①~⑥にOはないが、 <u>⑦**⑧⑨⑩のどれかにO</u> で虐待**防止に向けた**定期的な状況確認** を行う。</u>

本人の意向 養護者の意向 第2-2表

確認項目

	通	確認日	確認項目	サイン(当てはまるものにチェック) ※網掛けは緊急保護の検討	写	確認者
			外傷等	□ 頭部外傷(血腫・骨折疑い) □ 腹部外傷 □ 褥瘡 □ その他 (
			外傷寺	具体的部位: 大きさ:		į
_			全身状態・意識レベル	全身衰弱 🔲 意識混濁)
身体			脱水症状	□ 脱水症状 □ 脱水症状を繰り返している)
状況			栄養状態等	□ 栄養失調 □ 低栄養 □ 低血糖の疑い		
				□ 身体に複数のあざ □ 頻繁なあざ □ 火傷 □ 刺し傷 □ 打撲痕 □ 腫脹		}
けが			あざ・傷			
等			体重の増減	□ 急な体重減少 □ 痩せすぎ □ 太りすぎ		}
			出血や傷の有無			ļ
			その他			<u> </u>
			衣服・寝具の清潔さ	□ 着の身着のまま □ 濡れたままの下着 □ 汚れたままのシーツ		
			身体の清潔さ			
			適切な食事			
生活			適切な睡眠	□ 不眠の訴え □ 不規則な睡眠		ļ
状			行動の制限	□ 自由に外出できない □ 家族以外の人と話すことができない □ 屋外での放置		ļ
況			不自然な状況	□ 資産と日常生活の大きな落差 □ 食べるものにも困っている □ 通帳がない	 	ļ
			住環境の適切さ			ļ
			その他		l	\
			恐怖や不安の訴え	□ 「怖い」「痛い」「怒られる」「殴られる」などの発言		
			保護の訴え	□ 「殺される」「何も食べてない」「家にいたくない」「帰りたくない」などの発言		
			強い自殺念慮	□ 「死にたい」などの発言 □ 「自分はいない方が良い」など否定的に話す)
話の			あざや傷の説明	□ つじつまが合わない □ 求めても説明がない □ 隠そうとする		}
内容			金銭の訴え	□ 「お金をとられた」「年金が入ってこない」「貯金がなくなった」などの発言)
6			性的事柄の訴え	□ 「生殖器の写真を撮られた」などの発言		} !
			話のためらい	□ 関係者に話すことをためらう □ 話す内容が変化する		
			その他			
表			おびえ、不安	□ おびえた表情 □ 急に不安がる □ 怖がる □ 人目を避けたがる		
情			無気力さ	□ 無気力な表情 □ 問いかけに無反応		
態			態度の変化	□ 家族がいる・いない態度が異なる □ なげやりな態度 □ 急な態度の変化		
度			その他			
			適切な医療の受診	□ 家族が受診を拒否 □ 受診を勧めても行った気配がない		
サー			適切な服薬の管理	□ 本人が処方されていない薬を服用 □ 処方された薬を適切に服薬できていない		
ビス			入退院の状況	□ 入退院の繰り返し □ 救急搬送の繰り返し		
ス等利			適切な介護等サービス	□ 必要であるが未利用 □ 勧めても無視あるいは拒否 □ 必要量が極端に不足		
用			支援のためらい・拒否	□ 援助を受けたがらない □ 新たなサービスは拒否		<u> </u>
状況			費用負担	□ サービス利用料が突然払えなくなる □ サービス利用をためらう		
			その他			
			支援者への発言	「何をするか分からない」「殺してしまうかもしれない」などの訴えがある		<u> </u>
			保護の訴え	□ 虐待者が高齢者の保護を求めている 	 	
養護			暴力、脅し等	□ 刃物、ビンなど凶器を使った暴力や脅しがある 		ļ
者の		ļ	高齢者に対する態度			<u> </u>
態度			高齢者への発言	□□ 「早く死んでしまえ」など否定的な発言 □□ コミュニケーションをとろうとしない		ļ
等			支援者に対する態度	── 援助の専門家と会うのを避ける── 話したがらない── 拒否的── 専門家に責任転嫁	ļ	
		ļ	精神状態•判断能力	□ 虐待者の精神的不安定 □ 判断能力低下 □ 非現実的な認識		<u> </u>
			その他		10	18 —

第3表

下高福

号

課長	基幹包括 センター長	介護 Gリーダー	高齢 Gリーダー	担当者

高齢者虐待対応コアメンバー会議録兼計画書

	作成	者 :	職種 :	所属 :						
会議日時		\sim	場所()				
高齢者氏名	性別	住所		生年月日		()				
^=*:U:===*	高齢福祉課	高齢福	社課	高齢福祉調	₹					
会議出席者	包括	包	括							
<u> </u>				l	<u> </u>	\				
会議目的	□ 虐待の有無と緊急性の判断及	ひ今後の万針に	こついて 🗌 その他	19 ()				
本人の意向										
養護者の意向				支援の必要性: 🗌	あり 🗌 なし 🛚]不明				
虐待事実 の判断 虐待事実の 判断根拠	□ 成年後見制度 □ 経 □ その他 (□ 虐待の事実あり	針について下 ービス追加 (斉的支援 (ブレクト (セル)	□ 訪問 □ 通所□ 生保相談・申請	↑ □ 短期 □ 施設 □	」その他 (〕生活困窮 虐待 □ 性的原)))))				
緊急性の判断	□ 緊急性あり □ 緊急性なし									
	□ 入院や通院が必要(重篤な外傷、脱水、栄養失調、衰弱等)□ 高齢者本人・養護者が保護を求めている□ 身後重大な結果が生じる、繰り返される可能性□ 虐待に繋がる家庭状況・リスク要因がある□ 高齢者の安全確認ができていない									
緊急性の 判断根拠	_ □ 暴力や脅しが日常的に行わ	れている		-] 今後重大な結果が生じ	る、繰り返される					
	□ 暴力や脅しが日常的に行わ □ 虐待に繋がる家庭状況・リ □ その他(□ 立入調査(高虐法第11条) □ 緊急分離保護 □ 入院 □ 面会制限	れている スク要因があ ⇒ 警察への ⇒ 保護院 への → 放記 → 世 → で → で → で → で → で → で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・	る	-] 今後重大な結果が生じ	vる、繰り返される できていない 					
判断根拠対応の内容	□ 暴力や脅しが日常的に行わ □ 虐待に繋がる家庭状況・リ □ その他(□ 立入調査(高虐法第11条) □ 緊急分離保護 □ 入院 □ 面会制限 □ 在宅サービス導入・調整 □ やむを得ない措置 □ 金銭管理 □ 経済的支援	れている スク要因があ ⇒ 警察への ⇒ 保護院 への → 放記 → 世 → で → で → で → で → で → で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・	る	今後重大な結果が生じ 高齢者の安全確認が 特別養護老人ホーム あすてらす 減免手続き	できていない □ 検討中)				
判断根拠対応の内容	□ 暴力や脅しが日常的に行わ □ 虐待に繋がる家庭状況・リ □ その他(□ 立入調査(高虐法第11条) □ 緊急分離保護 □ 入院 □ 面会制限 □ 在宅サービス導入・調整 □ やむを得ない措置 □ 金銭管理	れている スク要因があ ⇒ 警察への ⇒ 保護院先 → か 世 養 そのに → は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	る 援助要請 : : : : き人ホーム □ 也 (後見制度 □ 呆護申請 □ 各種	今後重大な結果が生じ 高齢者の安全確認が 特別養護老人ホーム あすてらす	vる、繰り返される できていない)				
判断根拠対応の内容	□ 暴力や脅しが日常的に行わ □ 虐待に繋がる家庭状況・リ □ その他(□ 立入調査(高虐法第11条) □ 緊急分離保護 □ 入院 □ 面会制限 □ 在宅サービス導入・調整 □ やむを得ない措置 □ 金銭管理 □ 経済的支援	れている スク要因があ ⇒ 警察への ⇒ 保護院先 → か 世 養 そのに → は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	る 援助要請 : : : : き人ホーム □ 也 (後見制度 □ 呆護申請 □ 各種	今後重大な結果が生じ 高齢者の安全確認が 特別養護老人ホーム あすてらす 減免手続き	できていない □ 検討中)				
対応の内容	□ 暴力や脅しが日常的に行わ □ 虐待に繋がる家庭状況・リ □ その他(□ 立入調査(高虐法第11条) □ 緊急分離保護 □ 入院 □ 面会制限 □ 在宅サービス導入・調整 □ やむを得ない措置 □ 金銭管理 □ 経済的支援	れている スク要因があ ⇒ 警察への ⇒ 保護院先 → か 世 養 そのに → は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	る 援助要請 : : : : き人ホーム □ 也 (後見制度 □ 呆護申請 □ 各種	今後重大な結果が生じ 高齢者の安全確認が 特別養護老人ホーム あすてらす 減免手続き	できていない □ 検討中)				
対応の内容	□ 暴力や脅しが日常的に行わ □ 虐待に繋がる家庭状況・リ □ その他(□ 立入調査(高虐法第11条) □ 緊急分離保護 □ 入院 □ 面会制限 □ 在宅サービス導入・調整 □ やむを得ない措置 □ 金銭管理 □ 経済的支援	れている スク要因があ ⇒ 警察への ⇒ 保護院先 → か 世 養 そのに → は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	る 援助要請 : : : : き人ホーム □ 也 (後見制度 □ 呆護申請 □ 各種	今後重大な結果が生じ 高齢者の安全確認が 特別養護老人ホーム あすてらす 減免手続き	できていない □ 検討中)				
対応の内容	□ 暴力や脅しが日常的に行わ □ 虐待に繋がる家庭状況・リ □ その他(□ 立入調査(高虐法第11条) □ 緊急分離保護 □ 入院 □ 面会制限 □ 在宅サービス導入・調整 □ やむを得ない措置 □ 金銭管理 □ 経済的支援	れている スク要因があ ⇒ 警察への ⇒ 保護院先 → か 世 養 そのに → は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	る 援助要請 : : : : き人ホーム □ 也 (後見制度 □ 呆護申請 □ 各種	今後重大な結果が生じ 高齢者の安全確認が 特別養護老人ホーム あすてらす 減免手続き	できていない □ 検討中)				
判断根拠 対応の内容 対象 高齢者 養護 (2)	□ 暴力や脅しが日常的に行わ □ 虐待に繋がる家庭状況・リ □ その他(□ 立入調査(高虐法第11条) □ 緊急分離保護 □ 入院 □ 面会制限 □ 在宅サービス導入・調整 □ やむを得ない措置 □ 金銭管理 □ 経済的支援	れている スク要因があ ⇒ 警察への ⇒ 保護院先 → か 世 養 そのに → は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	る 援助要請 : : : : き人ホーム □ 也 (後見制度 □ 呆護申請 □ 各種	今後重大な結果が生じ 高齢者の安全確認が 特別養護老人ホーム あすてらす 減免手続き	できていない □ 検討中)				
判断根拠 対応の内容 対象 高齢者 養護者 3	□ 暴力や脅しが日常的に行わ □ 虐待に繋がる家庭状況・リ □ その他(□ 立入調査(高虐法第11条) □ 緊急分離保護 □ 入院 □ 面会制限 □ 在宅サービス導入・調整 □ やむを得ない措置 □ 金銭管理 □ 経済的支援	れている スク要因があ ⇒ 警察への ⇒ 保護院先 → か 世 養 そのに → は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	る 援助要請 : : : : き人ホーム □ 也 (後見制度 □ 呆護申請 □ 各種	今後重大な結果が生じ 高齢者の安全確認が 特別養護老人ホーム あすてらす 減免手続き	できていない □ 検討中)				
判断根拠 対応の内容 対象 高齢者 養護 (2)	□ 暴力や脅しが日常的に行わ □ 虐待に繋がる家庭状況・リ □ その他(□ 立入調査(高虐法第11条) □ 緊急分離保護 □ 入院 □ 面会制限 □ 在宅サービス導入・調整 □ やむを得ない措置 □ 金銭管理 □ 経済的支援	れている スク要因があ ⇒ 警察への ⇒ 保護院先 → か 世 養 そのに → は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	る 援助要請 : : : : き人ホーム □ 也 (後見制度 □ 呆護申請 □ 各種	今後重大な結果が生じ 高齢者の安全確認が 特別養護老人ホーム あすてらす 減免手続き	できていない □ 検討中)				
判断根拠 対応の内容 対象 高齢者 養護者 3	□ 暴力や脅しが日常的に行わ □ 虐待に繋がる家庭状況・リ □ その他(□ 立入調査(高虐法第11条) □ 緊急分離保護 □ 入院 □ 面会制限 □ 在宅サービス導入・調整 □ やむを得ない措置 □ 金銭管理 □ 経済的支援	れている スク要因があ ⇒ 警察への ⇒ 保護院先 → か 世 養 そのに → は で で で で で で で で で で で で で で で で で で	表別要請: : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	今後重大な結果が生じる 高齢者の安全確認が	できていない 検討中 対応日時・期限 対応日時・期限)				

第4表

τ			٠,	$\overline{}$
Т	١,	ᇹ	ıή	兩

号

課長	基幹包括 センター長	介護 Gリーダー	高齢 Gリーダー	担当者

高齢者虐待【初動期】評価会議録

			作. 作.	或者 :		職種 :			属 :
	議日時			\sim	,	場所	()
高量	龄者氏名		性別	住所		-		生年月	
		高齢福祉課			高齢福祉課			高齢	福祉課
会記	議出席者	包括			包括				
会	議目的	□ 虐待対応に対	する評価に	ついて			D他 ()
	人の意向							,	
養 護	養者の意向						支援の	の必要性	: 🗌 あり 🗌 なし 🗌 不明
	サタネ	*+ **	r de		计应 结用		Tth=31.32	<i>Tth</i> =₹1 ← 0+	=== /==
	対象者	対応内	答		対応結果		確認者	確認日時	評価
									□ 達成 □ 対応継続
									□ 対応方法の変更 /
_									<u>(</u>
									□ 達成 □ 刈心軽点 □ 対応方法の変更
									刈心刀広の変更 (
									<u>│</u> │
									□ 対応方法の変更
_									<u>`</u> □ 達成 □ 対応継続
									□ 対応方法の変更
									()
									□ 達成 □ 対応継続
									□対応方法の変更
									()
									□ 達成 □ 対応継続
									□ 対応方法の変更
									(
本	人意向								
(5	対応後)								
	護者意向								
()	対応後)							支援(の必要性: □ あり □ なし
虚征	寺発生の		虐待種別					判	定
	スク状況	1. 身体的虐待			□ 解	消せず[] 疑い [一時解消	肖 🗌 解消した 🗌 虐待なし
× ′	「希 刀 \出++	2. ネグレクト	(セルフネグ	含)	□ 解	消せず[] 疑い [一時解消	
ず」	「解消せ 「疑い」	3. 心理的虐待				消せず [] 疑い [一時解消	
にチェック⇒ 4. 経済的虐待 4. 経済的虐待						消せず [] 疑い [一時解消	
	7.200	5. 性的虐待				消せず[疑い	一時解消	肖 □ 解消した □ 虐待なし
		評価結果の	Dまとめ					今後の対	対応
$\overline{\Box}$	虐待対応				利擁護(原			3.76. 2括的継続的ケアマネミ ^{*・} / ^	
Ħ								, <u> </u>	110
	虐待対応	の継続 ■■■			ケー:	ス会議日日	寺		~ 場所 (110)

第5表

下高福

믕

課長	基幹包括 センター長	介護 Gリーダー	高齢 Gリーダー	担当者

第 回 高齢者虐待対応ケース会議録兼計画書

				作成者 :		職種	:		所属	:		
会議日時				^	,	場所	()
高齢者氏名	,]		性別	住所			•		生年月	\Box		()
	高齢福	祉課			高齢福祉	課			高齢福			
会議出席者					包括	-						
		10			ال ال	<u>'</u>						
会議目的	□ 虐待落	対応に対	する今後	後の方針と役	割分担につ	いて	その他	()
本人の意向)											
養護者の意向								支援の	必要性:	Πħ	5り 🗌 なし	□ 不明
								<u></u>				
	要因の分析	Í										
1												
2												
3												
		· · - · · · · · ·	1-10 0 11									
虐待発生	要因の解消	首に回け	た総合的	な対応方金	†							
唐出际人	++ <i>A</i> -+/					/B 0	ı =m	日本				
優先順位	対象者					個 5	課	題				
		1										
		2										
		3										
		4										
		5										
		6										
		7										
		8										
優先順位	課題番号				対	心					対応日時・期限	担当者
1												
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
++ = +*=	## += === 85	<i>∧</i> ///+△	=	L401477	いまま							
XJ心か体	難る課題・	ラ俊快	宣うるい	ければならな	い事項							
								,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,				
				其	価会議日時					~	所	111 —
				UI						2//	771	

第6表

下高福

믕

課長	基幹包括 センター長	介護 Gリーダー	高齢 Gリーダー	担当者

第 回 高齢者虐待【対応期】評価会議録

			作原	成者 :		職種	:	所	属 :	
会	議日時			~	,	場所	()
恒	齢者氏名		性別	住所				生年月)
		高齢福祉課			高齢福祉課			高齢	福祉課	
会	議出席者	包括			包 括					
会	議目的	□ 虐待対応に対	する評価につ	ついて			<u>の他 (</u>)
	人の意向			<i>-</i>			•>10 (
養護	養者の意向						支援(の必要性	: 🗌 あり 🗌 なし 📗	不明
	対象者	対応内容	容		対応結果		確認者	確認日時	評価	
									□ 達成 □ 対応継続	
									□ 対応方法の変更	
)
									□ 達成 □ 対応継続	
									□ 対応方法の変更	`
									□ 達成 □ 対応継続	
									□ 建成 □ 対心極続 □ 対応方法の変更	
)
									<u>`</u> □ 達成 □ 対応継続	
									□ 対応方法の変更	
)
									□対応方法の変更	
									()
									□ 達成 □ 対応継続	
									□ 対応方法の変更	
									()
•							•			
本	人意向									
()	対応後)									
	護者意向									
C	対応後)							支援(の必要性: □ あり □	なし
虐往	寺発生の		虐待種別					判	定	
	スク状況	1. 身体的虐待				解消せず	□ 疑い [一時解》		
*	「解消せ		(セルフネグ	含)		解消せず	疑い [
ず」	「疑い」 チェック⇒	3. 心理的虐待				解消せず	疑い [
	アエック□〉 ース会議	4. 経済的虐待				解消せず	疑い [
5. 性的虐待						J2				
評価結果のまとめ							今後の	过応		
□ 虐待対応の終結 ■ ◆			→ □ †		(虐待対応除	(i) [] 包	3括的継続的ケアマネミッノ			
□ 虐待対応の継続 ■		ケー	ス会議日	時		~ 場所 ¹¹	2)			

	······································		
		·	